

# 道徳教育推進研修について

佐藤寿子

## 1. 秋田県高等学校道徳教育推進協議会、指導者養成研修の日程

### ①秋田県高等学校道徳教育推進協議会

- (1) 期 日 令和元年6月21日(金)
- (2) 場 所 秋田県総合教育センター
- (3) 日 程 10:00～11:10 開講行事及び全体会  
11:20～12:00 実践発表(西仙北高校・湯沢翔北高校)  
13:30～14:30 分科会Ⅰ  
①道徳教育の重点目標に基づく取り組みについて  
②道徳教育の推進体制の充実について  
14:40～16:15 分科会Ⅱ  
①各教科等における道徳の視点を取り入れた指導について

### ②指導者養成研修(ブロック別指導者研修)

- (1) 期 日 令和元年8月19日(月)～21日(水)
- (2) 場 所 パーティーギャラリーイヤタカ(秋田市)
- (3) 日 程 8月19日(月)  
9:20～ 9:50 開講式・オリエンテーション  
10:15～11:05<講義1>道徳教育の抜本的充実に向けて  
11:15～13:45<講義2>今求められる道徳教育の充実を目指して  
14:00～15:30<講義3>実践活動や体験活動を通じた道徳教育  
15:45～17:00<協議>学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進上の課題
- 8月20日(火)  
9:00～10:30<講義>人間としての在り方生き方に関する教育の展開  
10:45～11:45<事例発表・講評・協議>  
人間としての在り方生き方に関する教育の実践と課題  
12:45～17:00<演習・協議2>人間としての在り方生き方に関する教育の実践  
—全体計画等の改善策・展開例の検討・発表・協議—
- 8月21日(水)  
9:00～10:30<事例発表・講評>  
学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の実践と課題  
10:45～12:00<講義4>道徳教育を推進するリーダーとして  
13:00～15:00<演習・協議3>道徳教育の効果的な推進方策—研修プランの作成—

## 2. 研修内容

### ①秋田県高等学校道徳教育推進協議会について

協議会では道徳教育が求められる背景、高等学校における道徳教育、道徳教育推進教師の役割などについてお話をしていただいた。新学習指導要領のポイントや、小学校中学校での道徳教育についても確認できた。高校においては、人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行うことが求められる。特に授業における道徳教育の視点が大切であることを今後伝えていきたい。また、西仙北高校と湯沢翔北高校の実践発表を聞いた。西仙北高等学校では、朝 SHR 前の 10 分間で週 1 回「教養」の時間を設け、心に響く文章を読み、自分自身の問題として考えさせる活動を実施したり、「ニュース」の時間を設け、新聞記事を題材に、正解のない問いに対する意見を答えさせたりしていた。湯沢翔北高校では、道徳教育の全体計画に中学校における「道徳」の指導内容項目を取り入れるなど工夫をしていた。今後、授業における指導例を提示したり、学校評価に道徳教育の項目を入れるなどする予定とのことだった。どちらの実践も職員全員で継続して取り組ませる仕掛けが含まれており、大変参考になった。

午後の分科会Ⅰでは、道徳教育の重点目標に基づく取り組みや道徳教育の推進体制の充実について、各校の先生方と意見交換をした。全体計画については目標が細かすぎる学校が多く、簡略化する必要を感じた。また、中学校「道徳」の 22 項目を職員に周知し、普段行っている取り組みが「道徳」につながるということを各分掌・教科に意識してもらおうと良いと思った。また、学校行事の振り返りに、道徳的視点を入れるというアイデアもあり、参考になった。分科会Ⅱでは、自分の担当する教科で、道徳教育の重点目標を念頭に入れた簡単な指導案を考えた。その後で先生方と情報交換をした。各教科の特色に応じて工夫された問いかけがあった。最後に、担当の伊藤淳先生から、どのような生徒を育てたいのかを考えて、全体計画を立てること、完璧な計画はないので、少しずつ段階を経て改善していけば良いという指導助言をいただいた。全体計画について、前年踏襲にならないよう見直していきたい。

### ②指導者養成講座について

8月19日（1日目）

講義では道徳教育が求められる背景、道徳の「特別教科」化、評価についてお話をしていただいた。新学習指導要領のポイントや、小学校中学校での道徳教育などの最新情報についても確認できた。道徳科が始まり、今までと変わったことは、教科用図書の主たる教材として使用することと、道徳科の授業で児童生徒を評価することである。また、道徳的実践の学習活動の場としての特別活動について、その特質を生かした道徳教育の意義や役割についても理解することができた。高等学校における配慮事項は、学校やホームルーム内の人間関係や環境を整えるとともに、就業体験活動やボランティア活動、自然体験活動、地域の行事への参加などの豊かな体験を充実する井事が大事とのことだった。本校は地域と連携した体験活動が充実していると思うので、そこで道徳的な心を育てていきたい。

協議では、事前に提出した課題や、全体計画を元に自校の道徳教育について工夫している点、改善したいと悩んでいることについて情報交換をした。各校の課題は「道徳の授業がどれだけうまく機能しているのか疑問だ。子どもたちの道徳に対する意識が学年が上がると低くなるようだ」「教材や資料の引き継ぎがうまくいっていない」などであった。他県や他校種の先生方と情報交換ができて有意義だった。

## 8月20日(2日目)【高等学校部会】

講義では、高校での道德教育についてのお話を伺った。現在取り組んでいることを可視化し、「校訓」の精神を元に全体計画を作り、全職員で共有し、チームで取り組むことが求められる。中学校の道德の教科書を読み、機会があったら小学校や中学校の道德の授業を参観したい。

次に秋田県立矢島高等学校の鎌田先生より事例発表があった。昨年度研修を受けて学んだことを、職員研修で伝達し、道德教育の全体計画を見直した、とのことだった。矢島高校の強みは少人数であること、歴史・自然遺産を活用実績があること、ボランティア実績があること、コミュニティスクールであることがあげられる。また、すでに鳥海総合など様々な取り組みがなされている。そこで、各行事の振り返りシートを道德的な観点から振り返ることができるように工夫したそうだ。また、すでに行われているキャリア教育CAN-DOリスト等の結果を利用して生徒の変容を分析していた。今ある活動を利用していた点が参考になった。

演習・協議では、グループに分かれ、各校の道德教育の全体計画を元に情報交換を行った。グループの中から1校選び、全体計画の見直しを行った。全体的に文字が多かったため、重点目標をより簡潔にし、学年の道德目標は重点目標をふまえているか1つずつ確認した。教科に関しては全体計画には詳しく載せられないため、別様で出してはどうか、と指導助言をいただいた。全体計画を作るだけでなく、活用していきたい。

## 8月21日(3日目)

男鹿市立美里小学校と大仙市立平和中学校より「いのちの教育あったかエリア事業」という県の事業を活用した道德教育についての事例発表があった。美里小学校では今まで実施していたサツマイモを育てる活動にプラスして、育てたサツマイモを男鹿水族館のホッキョクグマ豪太にプレゼントすることでいのちに関する認識を深める活動を行ったそうだ。平和中学校では避難所開設訓練を地域の方々と合同で行ったそうだ。また被災地交流活動や、小中連携の道德授業実践の紹介もあった。

講義では、道德教育の必要性、道德教育の推進、家庭や地域との連携についてお話を伺った。現在は多様な構成員が共に考え、議論し、そして協働することが求められるため、道德教育が重要である。自校の特徴を把握し、すでにある活動を見える化、共有化していくことが必要である。また、全体計画については、学校の教育目標、校訓から目指す子ども像を設定し、軸を明確にするとよい、とのことだった。

演習・協議では、班に分かれ、3日間の研修成果を活用した校内研修プランを作成し、情報交換をした。私たちの班では校内研修で全体計画の見直しや、各教科で道德教育の視点を入れた授業について話し合うという計画が多かった。ポイントを絞って実施すること、全体計画を1年で完璧にするのは難しいので、毎年見直しを加えながら改善していくこと、高校に関してはまずは道德教育について知ってもらうことが大切との指導助言があった。

## 3. 最後に

今回の研修を通して、道德教育の最新情報を多く得ることができた。研修後の職員会議において、研修で得た道德教育に関する情報を伝達し、各教科で協議をする時間を設けることができた。今後は全体計画を見直しより活用できるよう工夫していきたい。現在、決まった正解のない時代を生きる子どもたちにとって、道德的な心を身に付ける必要がある。高等学校においても教育活動全体を通して道德教育を行い、生徒の心を育みたい。